

こども霞が関見学デー(農林水産省)の 豆類の展示等の取り組み状況について

(公財) 日本豆類協会

平成30年8月2日、3日の2日間で「こども霞が関見学デー」が開催されました。今年は、「いろいろな豆とその仲間たち」をテーマに、「豆の生長やたくさんの豆を見て・さわって・学んでみよう!」、「豆料理の作り方のDVD放映」、「豆のプレゼント」を主な内容とした企画となっていました。

「豆の生長やたくさんの豆を見て・さわって・学んでみよう!」では、大きなボウルに入った小豆、金時豆、ひよこ豆、レンズ豆、花豆等の乾燥豆に触れて色、形、大きさ等の違いを実体験してもらう「マメつかみ」が行われ、また、今回北海道の十勝農業試験場から特別に提供いただいた小豆、金時豆、花豆等の鉢植えも展示され、子ども達は豆に直接触れ、その特徴や感触の違いに興味を持ち、楽しげに豆と接していました。

「豆料理の作り方のDVD放映」では、1品90秒位の豆料理の調理動画をパソコン画面で見ただきました。その他、豆の優れた栄養、機能性等の知識・情報の得られるパネルの掲示、豆料理のレシピ等の冊子の配布、世界の豆の現物標本、「豆エイト」のタペストリーの展示等が行われていました。

また、子ども達に小豆、虎豆、紫花豆、黒大豆等から好きな豆を選んでもらう「豆の人気投票」も行われました。参加者には、豆エイトを印刷したクリアファイル、きな粉が参加賞プレゼントとして配られました。一番人気の豆は小豆だったようです。

今年は、2日間で642組以上の来場者があったとのことであり、今回の企画を通じ、子ども達の豆に対する興味や関心が高まり、豆好きの子どもが増えることを期待します。



「マメつかみ」コーナー



豆の鉢植えの展示